

## 第2回第10採択地区教科用図書採択協議会 議事録（午前）

開催年月日	令和元年7月16日（火）		
開催場所	三芳町役場3階301会議室		
開催時間	9:30 ~ 11:45		
教育委員会	出席者		
富士見市	山口 武士 教育長	小野寺 巧 教育長職務代理者	
	簗輪 菊雄 教育委員	五十嵐洋太 教育委員	渡部利枝子 教育委員
ふじみ野市	朝倉 孝 教育長	富田信太郎 教育長職務代理者	
	塩野 好一 教育委員	丸山 昇 教育委員	茂井万里絵 教育委員
三芳町	古川 慶子 教育長	池上 善一 教育長職務代理者	
	長野真寿美 教育委員	鈴木 信之 教育委員	細谷 雄司 教育委員
	事務局		
	学校教育課長		武田 圭介
	指導主事		鳥山 裕貴



報告させていただきます。

昼食・休憩をはさんで午後から、令和 2 年度使用小学校教科用図書について、専門員長より研究結果を報告していただきます。

進め方につきましては、各教科の調査結果を報告したのち、質疑、応答の時間を設定いたします。

以上でございます。

(司会)

ただいまの説明につきましてご質問等はございますか。

それでは、これより、議長を 山口 会長にお願いいたします。

(議長)

第10採択地区教科用図書採択協議会要綱第10条の規定により、本日の議長を努めさせていただきます。協議が慎重に進められ、適切な選定がなされますよう、ご協力をお願いします。

協議に入る前に、ふじみ野市の教育委員変更に伴って本協議会の委員の変更がございます。

要綱第 5 条に 「委員は、関係市町教育委員会の教育長及び委員をもって充てる。」とあり、また、第 2 項に「委員の任期は、1 年とする。ただし、任期の途中で委員が交代した場合における後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。」とあります。

ふじみ野市伊藤委員の任期を引き継ぎ、茂井委員が本協議会委員となりますことをご確認いたします。よろしいでしょうか。

(委員)

はい。

(議長)

続きまして、本会議において、要綱第 1 4 条に基づき、非公開とすべき項目の有無について確認します。

このことについて、事務局より提案はありますか。

(事務局)

第1回採択協議会で会議は全て公開とすると決定しております。

したがって、本会議につきまして、非公開とすべき項目はございません。

(議長)

事務局からは特に非公開とすべき項目がないとありましたが、委員の皆さまよろしいでしょうか。

(委員)

はい。

(議長)

それでは専門員の教科用図書研究結果の報告及び質疑応答については、

<p>4 報告及び質疑</p>	<p>すべて公開するというので、協議を続けます。</p> <p>なお、ガイドラインに基づき、採択期間中の教科書発行者による接触は禁止されております。万が一接触を試みる教科書発行者があった場合は、事務局まで報告をお願いいたします。もし、そのような行為が報告された場合は、ガイドライン（４）②のとおり「教科書発行者による不適切な行為や公正取引委員会の警告も勘案して、教科書を採択する。」こととします。</p> <p>委員の皆様、よろしいでしょうか。</p> <p>（委員） はい。</p> <p>（議長） それでは、これより各教科の研究結果報告を行います。中学校国語の担当者を入室させてください。</p> <p>（担当者） 失礼します。中学校国語科を担当いたします富士見市教育相談室副室長兼指導主事西嶋環でございます。</p> <p>これより、国語科の調査研究の報告をいたします。国語科では5者について、調査研究を行いました。その結果につきましては、県から示された調査資料の様式に則りまとめましたお手元の報告書のとおりです。</p> <p>それでは、「東京書籍」について調査研究結果をご報告申し上げます。はじめに「総括」部分についてご説明いたします。巻頭や巻末、单元の中に3年間の学習内容の関連が示され、生徒自身が見通しをもって学習できるようになっています。また、各学習材で身に付けさせたい基礎的・基本的な知識・技能が「言葉の力」として明示され、段階的に積み上げる課題設定がされています。次に、「特色」について、主なものをご説明いたします。はじめに、思考力・判断力・表現力等を育成する工夫についてですが、論理的・創造的に考え、表現する力を育成できるように、活動過程の具体例や完成作品例が示されています。主体的に学習に取り組む態度を養う工夫についてですが、「領域別学習材一覧」に学習目標やその学習材で身に付けたい「言葉の力」を示すことで、生徒の学ぶ意欲を高める工夫をしています。</p> <p>次に、「学校図書」についてご説明いたします。はじめに「総括」ですが、单元ごとに設定された「ついた力を確かめよう」において、学習の成果を確認できるようになっています。また、基礎的・基本的な知識・技能を段階的に習得できるよう单元の教材構成が工夫されていたり、「読むこと」と「話すこと・聞くこと」「書くこと」の関連を図るためにコラム「活動を考える」を導入的に設けられたりしています。主な「特色」ですが、思考力・判断力・表現力等を育成する工夫については、教材の最後にある「学びの窓」で、読解の力を付けるために、読み深めるための小発問や交流など多様な学習活動が提示されています。主体的に学習に取り組む態度を養う工夫についてですが、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材において「学習の見通し」が示され、生徒が主体的に学習が進めら</p>
-----------------	--

れるよう工夫されています。

次に、「三省堂」についてです。「総括」ですが、バリアフリーや漫画、アニメ、落語などから紐解く文化論など、生徒が興味をもちそうな教材が取り上げられ、読書においても各学年50冊以上の推薦図書が示されています。また、巻頭の部分に領域別教材一覧が示され、教材ごとに付けさせたい力が明示されています。主な「特色」として、思考力・判断力・表現力等を育成する工夫についてですが、「学びの道しるべ」では、分かりやすい言葉で学習の視点が示され、何を目標にして学びを深めていくのかが明確になっています。主体的に学習に取り組む態度を養う工夫についてですが、写真や図が多く取り入れられた構成になっており、学習内容の理解を補助する役割を果たしています。

次に「教育出版」についてご説明いたします。はじめに「総括」についてです。3年間の学習の系統性を考え、1年生は中学への導入単元が、3年生には送り出し単元が設定されています。また、各領域とも幅広い言語活動を通して、基礎的・基本的な能力や思考力・判断力・表現力を育成することができるように、系統的な単元構成・内容となっています。「特色」ですが、思考力・判断力・表現力等を育成する工夫について、学習のポイントをまとめたコラム「ここが大事」が設定されていたり、表現領域や言語教材との関連、関連図書の紹介を示したりする工夫がされています。また、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫についてですが、「学習の手引き（みちしるべ）や「学びのチャレンジ」により、見通しをもって学習を進めたり、学習を振り返り、活用力を高めるために様々な言語活動に取り組んだりできるようになっています。

「光村図書」についてご説明いたします。「総括」ですが、音声表現や他教科や総合的な学習の時間でのレポート作成等との連携を意識した単元構成になっています。また、「学習のための用語一覧」や「次へつなげよう」などで各学年に応じた学習内容や付けたい力が明確に示されています。主な「特色」ですが、思考力・判断力・表現力等を育成する工夫では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習において、学び合いの活動が設けられ、伝え合う力が身に付けられるようになっています。また、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫についてですが、「目標」や「学習の窓」に加えて、「学習を振り返る」の項目が加えられ、見通しをもって学習に取り組むとともに、学習後の達成感を得やすい工夫がされています。以上で説明を終わりにいたします。

(議長)

ありがとうございました。

ただ今の説明につきまして、ご質問はございますか。

ないようでしたら私のほうから1点質問いたします。

平成27年の採択から各者大きな変更等がありますか。

(担当者)

特にありません

(議長)

皆様からはございませんか

それでは以上で国語の質疑を終了します。担当者の方は、ご苦労様でした。

(担当者)  
失礼します。

(議長)  
中学校書写の担当者を入室させてください。

(担当者)  
失礼します。中学校国語科書写を担当いたしますふじみ野市教育委員会学校教育課指導主事國井創でございます。よろしくお願ひします。

これより、書写の調査研究の報告をいたします。書写では5者について、調査研究を行いました。

「東京書籍」は、他の教科書と違い、B5より横が長いA B型の判型の教科書で、書き込み欄が工夫されています。巻頭には、「これから学ぶこと」として各学年の学習内容のポイントや学習の進め方が示されております。学習の流れといたしましては、毛筆で学習したことや気づいたことを、硬筆の学習で確認・発展させるように構成されています。また、「振り返ろう」という自己評価では、学習内容を再確認する工夫がされています。コラムの扱いについてでございますが、東京書籍は、それぞれの単元の中に、教材に関連した話題のコラムが掲載されており、巻末には、「いろいろな書式」として、書式ごとの書き方の例や「書写テストに挑戦」などの資料がまとめられています。その他の特徴といたしましては、毛筆教材では、筆使いについて朱墨と薄墨で視覚的に表現され、手本の横に「書くときのポイント」が示されております。また、「防災訓練」を題材として取り上げるなどの工夫がされています。

続きまして、「学校図書」の教科書についてでございます。学校図書は、他の教科書より横が少し長いB5の変形の教科書です。巻頭には、「学習の進め方」が示されており、その後、学習の前の確認事項が説明されています。各単元では、毛筆教材がはじめにあり、見開き2ページを使って手本が示されております。そして、終わりには、「硬筆で書いてみよう」が設定され、毛筆での学習を生かして硬筆に取り組み、学習内容を確認する構成になっています。また、「書写の窓」という、教材に関連した話題のコラムが掲載され、篆刻などの発展学習も示されております。巻末には、「楷書のいろいろな書き方」「書き文字と活字」「行書の漢字一覧表」の資料がまとめられています。その他の特徴といたしましては、「行書・楷書を選んで書こう」という課題が設定され、目的や場面に合った書体を考えさせることが工夫されていることや、「枕草子」や「少年の日の思い出」などの文学教材も題材となっています。

続きまして、「三省堂」の教科書についてでございます。三省堂は、B5の判型です。各単元の冒頭に目標を示し、「考えよう・話し合おう」に、単元のめあてについての問いが設けてあり、自ら考えることから学習

に入っているように工夫されています。また、各単元が、毛筆の練習で書いて確かめ、次に、硬筆のワークシートに書いて復習できるように構成されています。また、見開きで学習の流れが見渡せるように、「理解する」「書いて確かめる」「振り返る」という活動の構成とデザインが工夫されています。3年生の末尾には、「三年間で学んだ書写技能」があり、中学校の書写活動を振り返ることができるようになっています。その他の特徴といたしましては、行書単元の前に、行書を使って硬筆で書いた歌詞が掲載されています。また、資料編では、「日常の書式」や「文字の変遷・文房四宝」「楷書・行書一覧表として、小学校で学習した漢字、中学校で学習する漢字」「自分の文字」などが工夫されています。

続きまして、「教育出版」の教科書についてでございます。教育出版はB5の判型です。巻頭には、「目的に合わせて書こう」で、「書く目的」に合わせて「どんな力を身に付けるか」が示されています。また、各学年の初めに改めて目次のページが設けられています。全体的な構成といたしましては、見開き2ページで、右のページには「毛筆手本」、左のページには「目標」「考えよう」等の学習項目が示されており、毛筆の筆先を写真で示すなどの工夫がされています。また、国語の教科書に掲載されている作品やレポート等の日常に役立つ作例が多く掲載されており、国語や他教科との連携が図られています。資料編では、「あの人が残した文字」として、「一休」や「樋口一葉」など、歴史上の人物や文学者の肉筆を紹介しています。その他の特徴といたしましては、目標を意識しての「なぞり書き」を設け、文字のバランスを身に付ける工夫がされており、伝統的な書式の「色紙」「短冊」などを扱い、文化を尊重するような配慮がされています。

最後に、「光村図書」の教科書についてでございます。光村図書はB5の判型です。各単元の教材が見開き2ページにまとめられており、全体の約半分にあたる後半は資料編で、「日常の書式」「活用するヒント」「書写事典」が掲載されています。教科書全体を「基礎編」「学習編」「資料編」の3部構成とし、書写力を育てる工夫がされています。各単元の冒頭に目標を示し、文字を書くポイントを「学習の窓」をヒントに考えて書き、基礎・基本を身に付けられるようになっています。また、毛筆の練習後、硬筆で書き、復習できるような構成をとっています。コラム「季節のしおり」では、詩や短歌等を楷書や行書で書く活動も取り上げられています。その他の特徴といたしましては、巻頭に「中学校三年間の見通しをもとう」が設けられ、中学校3年間の目標が掲げられており、分かりにくい筆使いや字形については、写真で示したり図解したりして、視覚的にも理解しやすいように工夫されています。

以上でございます。

(議長)

ありがとうございました。

ただ今の説明につきまして、ご質問・ご意見はありますか。

(委員)

実際の授業では毛筆のほかに硬筆の授業というのもあるのですか。

(担当者)

はい、確かめをした後に硬筆を行うことがあります。

(議長)

他によろしいですか。では私から一点質問をします。平成27年の採択から各者大きな変更等がありますか。

(担当者)

ございません。

(議長)

他いかがですか

(委員)

国語と書写でこれまで採択された教科書会社が違っているのですがこれで何か問題はありますか。

(担当者)

はい、現在も違うものを使用していますが、指導上は問題ないと考えております。

(議長)

他にはよろしいですか。ご質問がなければ以上で質疑を終了します。担当者の方は、ご苦労様でした。退室してください。

(議長)

続きまして、中学校社会科の報告です。担当者を入室させてください。

(担当者)

続きまして社会科地理分野の説明になります。坂戸市立教育センターの武田浩明です。どうぞよろしくお願い致します。教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告を行います。

「東京書籍」では、小学校との関連が表現されており、「分野関連マーク」地理・歴史・公民分野との関わりが見やすく記載されています。また、小学校で学んだことを「章の頭」にそれぞれ記載されていることが特徴です。基礎的・基本的な知識技能を習得する工夫として、導入・学習課題・本文・資料・確認の流れで構成され、学習内容の定着が図られています。思考力・判断力・表現力を育成する工夫として、最後に「確認」が設けられており、それぞれの章の学習内容をまとめたり、説明をすることで、思考力の育成を図っています。主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、学習内容に関連する写真等を豊富に掲載し、生徒の学習意欲を高められるようになっていきます。

「教育出版」では、学習課題とともに「見てみよう」が記され、各



節の最後には説明や記述などで表現させたりするなど、作業学習を取り入れていて見やすくまとめられています。基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫として、導入資料・学習課題・本文・資料・ふりかえりの流れで構成され、学習内容の定着が図られています。思考力・判断力・表現力を育成する工夫としては、章や節の最後に「学習のまとめと表現」で説明したりすることで思考力の育成を図るなど、言語活動で学習内容をまとめるようになっています。主体的に学習に取り組む態度を養う工夫としては、地域話題を紹介する「地理の窓」や「地域から世界を考えよう」「現代日本の課題を考えよう」などが設けられ、興味・関心に応じて探求する学習に取り組めるようになっています。

「帝国書院」では、学習課題を設定し、地図資料や写真により課題に迫り、本文、資料、作業の組み合わせにより基礎を培い、深化・発展的な問いを提示するなど、見やすくまとめられています。

基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫として、「導入資料」「学習課題」「本文資料」「確認しよう」「説明しよう」の流れで構成され、学習内容の定着を図っています。思考力・判断力・表現力を育成する工夫として、「確認しよう」「説明しよう」が設けられ、説明・要約などを行う一方で、州や地域ごとに「学習をふりかえろう」が設けられ言語活動で学習内容をまとめるようになっています。主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、「共生」「環境」「防災」の3つのテーマに分けられ、生徒の興味・関心を高め、主体的に取り組めるようになっています。

「日本文教出版」では、特徴として「連携コーナー」と題して教科書の左下に小学校での既習事項や今後学ぶ事項との関わりが記載されています。基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫として、導入資料・学習課題・本文資料・学習の確認や活用の流れで構成され、学習内容の定着が図られています。

以上で地理的分野についての説明を終わります。

続いて、歴史的分野について説明いたします。

「東京書籍」は豊富で考えられた配置の資料、学習指導要領に即して、ねらいをもったページ割り振りなどが非常に優れています。我が国の歴史の大きな流れを理解させるために単元のはじめにイラストとともに掲載されている歴史の流れが生徒の関心意欲を高める効果をしています。基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫としては、見開き2ページに1時間の内容が掲載されているので、学習内容の見通しをたてたり、振り返りをしたりしています。

「教育出版」は言語活動の充実を力を入れています。見開きページにはその内容に関する歴史上の言葉を紹介しています。これはキーワードで学習課題を設定し、展開することができるので授業者は授業の見通しがたてやすいといった工夫がみられます。

「清水書院」の教科書の特色は、基本的・基礎的な知識や技能を身に付けるように工夫されていること、歴史を理解し、さらに興味を広げることができるように工夫されていることです。基本的・基礎的な

知識や技能の習得については、各授業の学習課題とそのまとめが、明確に具体的に設けられており、資料も課題解決のための手がかりとして活用できるように配置されて、とても、分かりやすい構成となっています。

「帝国書院」の特色は、各時代の特色が描かれた「タイムトラベル」で各時代の本文と関連する重要な歴史の場面を探し出す視点を示し、生徒の感性に訴えながら、その時代の特色をとらえさせる工夫があること、文化史にページを多く割いて、日本の伝統、文化、芸術について紹介する欄や大きな写真を掲載し、政治・経済・国際関係等の社会的背景を踏まえた記述で、文化を形成した人々の活動や、工夫・努力する姿などにも触れている点です。

「日本文教出版」の特色は、見開きを1時間とし、導入資料、「学習課題」が示され、「学習の確認と活用」によって学習を振り返り、基礎的・基本的な知識を習得するという1時間ごとの授業の流れが明確になっています。また、紙面がAB版に拡大したことで資料・内容の充実が図られるとともに、その関連が分かりやすく構成されています。見開き1時間の内容が、導入資料と「学習課題」の明確な提示、「学習の確認と活用」の欄では、その日の学習を振り返るような書き込みをして、基礎的・基本的な知識を習得する工夫がされています。

「自由社」の教科書の特色は、一貫した通史として歴史の流れを理解しやすいように読み物資料が充実していますので、日本の偉人に対して興味を抱きやすくなっています。基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫としては、きめ細やかで丁寧な表現をしています。また、教科書内での太文字、重要語句も多く、生徒は学習をしやすい内容となっています。

「育鵬社」の歴史の教科書の特色は、学習の段階ごとに言語活動が数多く取り入れられていること、歴史上の人物についてのコラムが充実しているなど、我が国の伝統と文化に対する尊重と愛情を育てる工夫がされていることです。学習の段階ごとに言語活動が数多く取り入れられていることについては、「歴史人物Q&Aカードをつくろう」や「〇〇の世界へようこそ!」、「課題学習」など数多く掲載されており、個人で学習を進めるところから、仲間と協働的に進める学習が充実しています。

以上で、歴史的分野の説明を終わります。

続きまして、公民的分野について説明いたします。

「東京書籍」では、見開きの初めに学習目標を示し、頁末にまとめ問題を設定しています。章末の「学習のまとめ」のワークシートにより、重要語句を確認し知識を習得できるようになっています。「やってみよう」では、資料の比較や調査の仕方等の技能の習得を図っています。

「教育出版」では、1回の授業が見開きになっていて、初めに、「学習課題」を明記し、最後にまとめを行う「確認」を設け、学習内容を確実に定着させるようにしています。また、学習課題に対して、平易な本文と共に、写真、図、データ、グラフ等、多様な資料によっ

て基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、「確認」等でそれらを定着させるようにしています。

「清水書院」では、本文ページ、表記の説明、学習コラムや特設ページが充実し、様々な事例を紹介することで社会的な見方、考え方を培うようになっています。学習のきっかけや追及の中心となるような資料を数多く掲載し、生徒の興味関心を高め、主体的に学習に取り組めるよう配慮されています。

「帝国書院」では、明瞭な本文内容と側注の補助説明等によって、事象への理解が進み、学習内容が定着するようになっています。また「深める公民」「もっと知りたい公民」は基礎的・基本的な知識とともに、資料等を使いさらに具体的な事象について学べるようになっています。

「日本文教出版」では、見開きの初めに「学習課題」を示し、設定された学習課題に対して、頁末に「確認しよう」「説明しよう」を設け、学習した基礎的・基本的な内容を理解できたか確認するようになっています。また、「トライアル公民」では、資料の活用や技能、調査の方法の習得を図れるようになっている。

「自由社」では、最新の時事問題や写真を掲載し、生徒の理解の助けとなる分かりやすいイラストなど、資料が数多く掲載され、学習効果を高める工夫がされています。「チャレンジ公民」「情報スキルアップ」「明日に向かって」など、教科書全体に考え方や技能を応用することができる特設ページが多数掲載されています。

「育鵬社」では、見開き2ページに学習テーマをまとめ、学習目標を明確にし、学習内容が理解できているかを確認し、学習内容を深める課題が提示されています。巻頭には、世界に誇れる日本の先端技術を紹介し、巻末では「我が国の領域」について、大きな地図で分かりやすく示しています。

以上で、公民的分野の説明を終わります。

最後に、地図について説明いたします。

「東京書籍」の地図帳は、二部構成からなり、広い視野から地域的特色をとらえ、テーマ別に資料図やグラフをまとめ、「注目したい記号」などを示して基礎を培うようになっています。思考力・判断力・表現力を育成する工夫として、各州・各地方の「テーマ資料」では、諸地域の学習、テーマに沿って学習する際に活用できる資料を取り上げ、テーマに応じて考察することで理解を深め、学習効果を高めています。

「帝国書院」の地図帳は、鳥瞰図や自然、産業、生活文化の3つの視点で構成され資料図などの資料が豊富で、「ながめてみよう」では、「地図を見る目」を示して広い視野から日本や世界の地域的特色をとらえています。思考力・判断力・表現力を育成する工夫としては、自然環境や農業・工業・人口・文化など特定のテーマを表現した資料図を多面的に表現し、言語活動を促すために「やってみよう」が設けられています。

以上で、社会の説明を終わります。

(議長)  
ありがとうございました。  
ただ今の説明につきまして、ご質問・ご意見はありますか。

(委員)  
領土問題の記載について会社によって違いがあるでしょうか。

(担当者)  
どの会社も日本固有の領土を明記しております。ただし、歴史的な背景、現状説明、扱っている場所、内容については違いがあります。

(議長)  
他にありますか。では私のほうから1点。平成27年の採択から各者大きな変更等ありますか。

(担当者)  
後程調べてご報告します。  
(※p 35に報告を記載)

(議長)  
それでは次回の協議会で報告をお願いします。他にはよろしいでしょうか。

(委員)  
今はみんな同じのようなのですが、地理とかすべての教科書で会社が違っても問題はありませんか。

(担当者)  
基本的に問題はありませんが、同じ会社のほうが使いやすいと考えるものもいるかと思えます。以上でございます。

(議長)  
他にいかがでしょう。ないようであれば以上で質疑を終了します。担当者の方は、ご苦労様でした。退室してください。

(担当者)  
ありがとうございました。

(議長)  
次に数学の担当者を入室させてください。

(担当者)  
失礼いたします。鶴ヶ島市教育委員会学校教育課 深谷 朋代と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

数学の教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告を行わせていただきます。

まずはじめは、「東京書籍」でございます。「東京書籍」では、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせるために、段階を踏んで学習内容が定着するような題材が取り上げられており、具体的な事象と結び付けて考察する学習展開や、豊富な問題演習による反復学習により、基礎的・基本的な知識や技能を習得するよう構成されています。例の次に「たしかめ」が置かれ、「例」と同じ型で数値のみを変えた問題を設け、つまずきを解消しています。「ちょっと確認」「まちがい例」で同様な間違いを繰り返さないよう説明されています。巻末の「学びのつながり」で、中学校3年間の学習内容を系統的に振り返って確認できるようにしています。主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、学習課題やねらいを明示することで、学習に見通しをもち、学ぶ意欲を高め、数学的活動に主体的に取り組めるようにしています。各章の導入課題では操作活動を取り入れ、その活動が本文の指導へとつながり、数学的活動のよさや楽しさを実感するよう設定されています。

続いて「大日本図書」でございます。「大日本図書」では、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせるために、既習事項との関連を踏まえて導入課題が扱われています。主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、巻頭の「数学の世界へようこそ」「ノートのつくり方」で主体的に取り組むための方法が示されています。各章に「利用」の節が設けられ、学習内容が具体的な場面で活用することに気付くよう構成されています。巻末「Mathful」では数学の有用性に着目したり、数学と日本の文化との関連、和算などを取り上げられています。

続いて、「学校図書」でございます。「学校図書」では、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせるために、領域ごとに章の導入前に「ふりかえり」のページが設定されており、その章に関わる既習事項が記述されています。側注にも「ふりかえり」があり、既習事項との関連をより分かりやすくし、内容もできるだけ多く取り入れるよう配慮されています。主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、章の導入では操作的な課題を取り入れ、主体的に学習がスタートできるよう配慮しています。章末の「まとめの問題」の中で「活用」問題を位置付け、その章で学習した内容を利用して考える問題を設定しています。数学的活動となりうる学習活動には、「数学的活動」の記号を示して、数学のよさを感得したり、活用して考えることができるように配慮されています。

続いて、「教育出版」でございます。「教育出版」では、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせるために、各章の始めにある「学習をする前に」で既習事項を確認し、章末にはその章で学習した基礎的・基本的な内容をまとめるページ「学習のまとめ」が設けられており、内容を整理することができます。主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、観察、操作や実験などの活動を踏まえた課題が設定されており、数学的な見方や考え方のよさに気付かせ、身近で実際の課題解決に利用できるように構成されています。各章の始めに、学習の意義を感じさせるための身近な題材が扱われています。また、「チャレンジコーナー」や「数学ミニ辞典」等で、身近な事象に関連する題材を扱い、学習内容と日常の事象とのつながりを意識させながら、主体的な学習が展開されるように構成されています。

続いて、「啓林館」でございます。「啓林館」では、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせるために、本文の中に「ふりかえり」が示され、既習事項と

の系統性がとりあげられ、復習や学び直しをするよう構成されています。節末の「練習問題」では、反復練習ができ、巻末の「くり返し練習」は自ら進んで取り組むことができるような問題が用意されています。次に、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、各章の節とびらで日常生活と数学とのかかわりに触れており、数学的な表現を用いて、根拠を明らかにし筋道立てて説明し、伝え合う数学的活動を取り入れています。また、数学広場の「ひろがる数学」「数学を通して考えよう」や本文中の「数学展望台」では、子どもたちの興味・関心に応じて取り組む課題が設定されています。章末「身の回りを広げよう」や別冊の「MathNavi ブック」で、既習内容を活用する課題や数学の有用性に着目しています。

続いて、「数研出版」でございます。「数研出版」では、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせるために、基礎となる知識や技能を習得し、定着を図るための問題が各単元において用意されるとともに、巻頭の「クイックチャージ」では、既習事項が簡潔にまとめられており、本文中に「ふりかえり」としてその内容に関連する既習事項を確認できるようになっています。次に、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、各単元の導入課題や例題がその後の練習問題につながる内容として構成されているため、主体的に学び、数学的活動が促されるようになっています。「章とびら」では身近な事柄を題材として扱い、数学を学習することの有用性を感じながら学習に取り組むことのできる構成になっています。「数学探検」や「やってみよう」、「発展」では、数学の歴史や日常生活の中に数学を見いだして考えたり、判断できる題材を取り上げる構成になっています。

続いて、「日本文教出版」でございます。「日本文教出版」では、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせるために、各章の始めに「章を学ぶ前に」が設定され、既習事項の確認の機会が設けられおり、基礎的・基本的な内容を系統的に学ぶことができるように配慮されています。次に、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、巻頭の「数学の学習で大切なこと」で、日々の実践すべき内容が記され、「章の扉」では既習事項と関連づけた新たな課題など、興味・関心を促す工夫がなされています。側注には「チャレンジ」を設け主体的に学習できるよう工夫されています。さらに、観察、操作、実験を通し数学的活動の楽しさやよさを実感でき主体的に学習が展開されるよう工夫されています。環境問題についての記載もあり、身近なテーマや問題について考える際に、数学の有用性を実感させることができます。

(議長)

ありがとうございました。

ただ今の説明につきまして、ご質問・ご意見はありますか。

(委員)

最近のA I の発展に関連して数学の有用性という面で特に触れられている教科書はありますか。

(担当者)

A I の発展についてということでございますが、大変申し訳ございませんがもう一度詳しく研究させていただきまして次回報告をさせていただきます。

たいと思います。お願いいたします。

(議長)

他にございますか。他になければ私のほうから、平成27年の採択から各者大きな変更等がありますか。

(担当者)

いえ、大きく変わったところはありません。

(議長)

他によろしいでしょうか。他にご質問がなければ、以上で質疑を終了します。担当者の方は、ご苦勞様でした。退室してください。

(担当者)

ありがとうございました。

(議長)

次に、中学校理科の担当者を入室させてください。

(担当者)

失礼します

(議長)

お願いします。

(担当者)

中学校理科を担当いたします三芳町教育委員会学校教育課指導主事飯泉覚信でございます。

理科の調査研究の結果を報告いたします。理科の教科書は5者から発行されております。どの発行者も、「基礎的、基本的な知識や技能の習得」や「思考力、判断力、表現力を育成」するための学習活動を支援する工夫がされています。具体的には、既習事項が丁寧に示され、単元ごとに重要語句や基本用語が復習できるようになっています。また、基本操作については、観察・実験に関連付け習得させるようになっています。観察・実験では、結果・考察の視点が示され、生徒の思考力を高める工夫がされており、「話し合う」場面により、科学的に考え表現させる場面が示されています。

「東京書籍」の特徴は、巻頭で、探求の方法やその過程を示し、その中で教科書の使い方を説明しており、理科の学習の進め方が分かるようになっています。また、各単元の指導時期や内容の系統性を踏まえた単元配列になっています。1年生の教科書は、文字サイズが2・3年生の教科書よりも大きくなっています。観察・実験では、「結果の見方」と「考察のポイント」で結果・考察の視点を示し、根拠に基づいて考えるようにしています。「予想しよう」「調べ方を考えよう」などの項目があり、主体的に学習させる工夫があります。また、

注意が必要な箇所に注意マークと注意事項が朱書されるとともに、巻末資料として、薬品の性質や取扱い、実験操作の注意をまとめています。単元末には、その単元で学習した内容や自由研究が紹介され、理科への関心がより深まる工夫がされています。また、巻末には「校外の施設の活用」「科学史年表」などの資料がまとめてみられるようになっていきます。

「大日本図書」の特徴は、巻頭で、教科書の使い方を示し、その中で探求の流れが説明されており、理科の学習の進め方が分かるようになっていきます。また、各単元の指導時期や内容の系統性を踏まえた単元配列になっています。観察・実験では、「結果の整理」と「結果から考えてみよう」で結果・考察の視点を示しています。「もっと」「やってみよう」などの項目もあり、主体的に学習させるための工夫があります。また、注意が必要な箇所に注意マークと黄色囲みの注意事項を示すとともに、巻末資料として、実験を安全に行うための注意や操作をまとめ、安全への配慮がされています。単元ごとに終章「学んだことを活かそう」があり、「まとめ」「単元末問題」「読解力問題」が示されています。巻末には、全学年で「課題研究や自由研究の進め方」やその例が載っており、3学年では1・2年生の学習のまとめが見られるようになっています。

「学校図書」の特徴は、巻頭で「教科書の使い方」と「観察・実験の進め方」を分けて説明しており、「観察・実験の進め方」により、生徒が目的意識をもって観察・実験に取り組めるようになっていきます。また、教科書の前半は1分野、後半は2分野の単元配列になっています。観察・実験では、「結果」と「考察」の部分で結果・考察のそれぞれの視点を示しています。「操作」「結果」「考察」が別々の欄に配置されていて、結果を受けて、考察を導き、科学的な見方や考え方の育成を図るようになっていきます。また、注意が必要な箇所に注意マークと注意事項を朱書き太字で示すとともに、巻末資料には、実験を安全に行うための操作や薬品の取扱いをまとめています。単元ごとに「学習のまとめ」「単元末問題」「活用しよう」を示し、巻末に「自由研究の進め方」やその例、また資料として「誤差と有効数字」や「単位の大きさを表す記号」など基本操作を含む資料がまとめて見られるようになっていきます。

「教育出版」の特徴は、単元の導入では、「理科の学習の進め方」を示しており、理科の学習の進め方が分かるようになっていきます。また、教科書の前半は1分野、後半は2分野の単元配列になっています。観察・実験では、「結果」と「考察」で結果・考察の視点を示しています。「方法」「結果」「考察」を別々の欄に配置しており、結果をもとに考察が導きやすい構成になっています。「考えよう」では、課題解決の方法や結果の予想などが立てやすくなっており、科学的な見方や考え方が身に付くようになっていきます。また、注意が必要な箇所に三角のマークと注意事項を朱書きするとともに、巻末資料として、実験の基礎技能や薬品の性質をまとめています。単元末に「要点と重点用語の整理」「基礎・基本問題」「活用・応用問題」を示すとともに、巻末では「自由研究の進め方」やその例、基礎技能や単位



のしくみ、理科で使う算数・数学などの資料がまとめて見られるようになっています。

「啓林館」の特徴は、巻頭で、課題解決の流れを示しており、理科の学習の進め方が分かるようになっています。また、教科書の前半は2分野、後半は1分野を基本とした単元配列の「本冊」と別冊「マイノート」の構成になっています。1年生の教科書は、文字サイズが2・3年生の教科書よりも大きくなっています。観察・実験では、「結果」と「考察」で結果・考察の視点を示しています。「話し合ってみよう」などで思考させたり、表現させたりする場面を示しています。また、注意が必要な箇所に、項目ごとのマークと注意事項を朱書きしています。サイエンス資料として、実験の基本操作や薬品の性質をまとめています。単元ごとに「学習のまとめ」があり、別冊の「ステップアップ」も「基本のチェック」、「力だめし」、「学年末・中学校総合問題」などを示しています。また、青色シートが付属し、「学習のまとめ」などでは用語を隠して覚えられるようになっており、自主的な学習が補助できるつくりになっています。

以上で、理科の調査研究の説明を終わりにします。

(議長)

ありがとうございました。

ただ今の説明につきまして、ご質問・ご意見はございましたらお願いします。

(委員)

東書と大日本でいただいた資料の最後で総括という欄で、東書のほうは理科室の各学年の実験器具の重複がさけられる工夫をしている、大日本のほうも理科室での実験器具の同時使用が起こらない配列になっているという記載があるんですけども、他の3者については特に記載がされていないので、そういう配慮がないという理解でよろしいのかどうかです。

(副議長)

では、これについては、私の方から。理科の教員だったので、やっていたときには、教科書の記述に書いてあるかどうかということではなくて、当然ながら学習指導計画を立てるときに各学校とそのような配慮を設けてやっておりますので、書いてある、書いてないというのは別であろうというふうに思います。

(委員)

はい、分かりました。

(議長)

他に質疑ございますか。

(委員)

理科の実験の数というのは教科書によって数が違うものですか。表記さ

れているのは。

(担当者)

はい、発展、補足の実験ということでトータル的には同じになっているようです。

(議長)

他にいかがですか。

(委員)

説明非常に分かりやすかった。どの教科書会社も一生懸命作っているわけだし、いいところもしっかり話をさせていただいて、各教科書会社の特徴を話させていただいて大変よかったですと思います。ありがとうございました。

(委員)

最初の教科書会社にはなかったのですが、一分野、二分野というのは先に一分野、二分野というように分けて学習するというようになっているといったところはそれがされていて、それでないところはそうではないということですか。

(副議長)

それでは、これも私がお答えします。季節教材等もありますのでそれぞれの学校で工夫しながら一分野、二分野の年間を通した学習計画を作っております。特に分けてあるかどうかというのは、影響はないのかなと思います。

(議長)

他よろしいですか。

それでは私から一点。平成27年の採択から各者大きな変更等はありませんか。

(担当者)

ございません

(議長)

はい。他に質問がないようでしたら、以上で質疑を終了します。担当者の方は、ご苦労様でした。

(議長)

ここで10分間の休憩をとります。次は10時45分から中学校用音楽科教科用図書の報告を開始いたします。よろしくお祈りします。

～10分間休憩～

(議長)

では、会議を再開します。

(議長)

中学校音楽の担当者を入室させてください。

(議長)

説明をお願いします。

(担当者)

中学校音楽科を担当いたします富士見市教育委員会学校教育課指導主事 和智正悟でございます。これより、音楽科の調査研究の報告をいたします。音楽科では音楽、器楽とも2者について、調査研究を行いました。その結果につきましては、県から示された調査資料の様式に則りまとめましたお手元の報告書のとおりです。

はじめに、「教育出版」の「中学音楽 音楽のおくりもの」について説明します。学習指導要領に基づく3つの柱「音楽の要素を捉えながら」「様々な音楽文化」「歌いあわせ、聴き深める喜び」が設定され、各題材がその3つのどれかに位置づけられ、音楽を愛好する心情の育成、感性を豊かにする教材や解説が示されています。基礎的・基本的な知識技能の習得の工夫では、「Let's Sing!」で発声について、「どんな特徴があるかな?」のコーナーで、音楽を形作っている要素を感受して言葉で説明するなど工夫されています。思考力・判断力・表現力では、「吹き出し」に質問や助言が示され、知覚感受を記載できる工夫がされています。鑑賞教材では「自分の考えを述べる」や「比較してよさや美しさなどを考える」など、音楽の価値への考え、批評を記入する工夫があります。学習への主体的な態度の育成では、各教材に目標とする学習内容が示され、「Let's Try!」「伝えてみよう」「音のスケッチ」コーナーで育成できるよう構成されています。音楽活動の基礎的な能力の育成・工夫では、各教材のページ左側に目標、共通事項と結びついた活動のポイントが示され、系統的・発展的な学習に構成されています。歌唱共通教材「日本の歌みんなの歌」では「A Message for you」では作者の思いや意図を示し「歌のアルバム」では発達段階に応じた合唱曲が掲載されています。創作「音のスケッチ」でも段階的な手順が示されて教材が選択されています。音楽文化についての理解を深めさせる工夫では、「ポピュラー音楽図鑑」「日本と西洋の音楽の歩み」「肖像でみる音楽年表」等、多様な音楽への理解を深める工夫がされています。また、雅楽、歌舞伎、能等、我が国の伝統芸能について、一部を演奏したり体験したりする場面が設けられ、表現と鑑賞の関連を図る工夫が見られます。

資料では、「音楽著作権とインターネット」「アウトリーチ・教育活動・音楽療法」等、多面的な角度からの学習が工夫されています。表記・表現では吹き出しで、キャラクターが語る説明方法になっています。総括としては、豊富な教材が掲載されワーク的な要素を多く取り入れた構成と言えます。

次に、「教育芸術社」の「中学生の音楽」について説明します。学

習指導要領に沿った題材の目標や指導事項が「音楽学習MAP」としてまとめられ、アイコンで共通事項が示され学習内容が明確で、音楽を愛好する心情の育成、感性を豊かにする教材や解説がされています。基礎的基本的な知識技能の習得の工夫では、「ビンゴゲーム」「リズムゲーム」を設け、音符や休符、記号について繰り返し学習できるよう工夫されています。「マイボイス」では発声、「指揮をしてみよう」では表現の工夫の解説があり発達段階に応じて習得できるよう工夫されています。思考力、判断力、表現力では、活動のヒントとなる吹き出し、「チャレンジ!」では豊かな感性を育む補足的な学習が用意されています。「ここが分かればグレードアップ」のコーナーや創作などのワークシートでは、共通事項と関連させて思考判断する場面を設け、表現の工夫がされています。学習への主体的な態度の育成では、各教材への学習の目標とそのため学習活動の手順、「学習の窓口」、吹き出し等、主体的な態度の育成を図る工夫がされています。音楽活動の基礎的な能力の育成・工夫では、共通事項を「学習の窓口」としてマークで示し「ここが分かればグレードアップ」では段階的に基礎的能力が身につくよう工夫されています。歌唱共通教材「心の歌」では作者の思いや意図を示し、「心通う合唱」では発達の段階に応じた合唱曲が掲載されています。我が国の伝統的な歌唱では、民謡、長唄、能の特徴や留意点、音の高低が分かる絵譜を示し体験できるよう工夫されています。創作「マイメロディ」「レッツクリエイト」では簡潔な手順を示し、ワークシートを活用し段階的な学習が工夫されています。音楽文化についての理解を深めさせる工夫では、我が国や世界の音楽文化の音楽の特徴や良さ、多様性を感じ取るため、西洋音楽史を日本の歴史から捉えるコーナーや聞くポイントが示されています。民謡、長唄、能を系統的発展的に取り上げ、表現と鑑賞の一体化を図る教材が選択されています。また、世代を超えて日本の音楽文化を共有できる「心の歌」「歌い継ごう日本の歌」が掲載されています。資料では、「国境を越えて影響しあう音楽」「ルールを守って音楽を楽しもう」等多面的な角度からの学習が工夫されています。表記・表現では、学習事項が目に入りやすいようにすっきりとしたデザインになっています。総括としては、基礎的基本的な学習の習得のための精選された教材を中心とした構成と言えます。

続きまして、器楽合奏について説明いたします。

はじめに「教育出版」の「中学器楽 音楽のおくりもの」について説明します。基礎を身に付ける「演奏の仕方を身に付けよう」とその基礎力を基盤とした「合わせて演奏しよう」のアンサンブルが掲載され、音楽を愛好する心情を育て基礎的な能力を伸ばす様々な奏法が示されています。また、リコーダーやギター、5種類の和楽器や打楽器を取り上げ、我が国や諸外国の音楽に触れるよう構成されています。基礎的基本的な知識技能の習得の工夫では、「演奏の仕方を身に付けよう」で複数の角度から奏法が示されるとともに、各楽器の構造や各部の名称が説明されています。思考力、判断力、表現力の育成工夫では、各楽器の「演奏のポイント」が示され、「合わせて演奏しよう」

では様々な編成が示され表現力を深める工夫がされています。主体的な学習態度を養う工夫では、「Let' try」において楽器やパートを選択でき、様々なアンサンブルに対応できるよう工夫され、「音のスケッチ」では主体的な活動のための手順が示されています。音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫では、各教材に共通事項を踏まえた課題が示され、リコーダーの新出運指がページ横に掲載され、ギターの運指もキーボードの音程と同時に確認できるよう工夫されています。また、リコーダーの楽曲は、ソプラノリコーダー同士のアンサンブルやアルト、ソプラノのどちらでも学習できるように工夫されています。各楽器とも時代や曲種等に偏りなく幅広いジャンルから選択されています。楽曲の難易度も「Let' s play」から「Let' try」に吟味され、個に応じた指導に対応できるよう工夫されています。音楽文化についての理解を深める工夫では、箏、三味線、篠笛、太鼓、尺八が取り上げられ、和楽器を扱ったアンサンブルも掲載されています。資料では、「リコーダーの運指表」「ギターとキーボードのコード」が一緒に示され、キーボードには鍵盤が示される工夫がされています。表記・表現では、和楽器における五線譜と和楽器固有の奏法譜が示されています。総括としては、「名曲旋律集」が掲載され、リコーダー16、ギター、箏10、三味線8、尺八2の掲載があり、発展的な学習ができる構成となっています。

次に、「教育芸術社」の「中学生の器楽」の説明をします。学習指導要領の示す共通事項と関連のあるアイコンが「音楽学習MAP」で明示され、各教材の学習目標や取組窓口となっており、音楽を愛好する心情を育て基礎的な能力を伸ばす様々な奏法が示されています。また、リコーダーやギター、5種類の和楽器、12種類の打楽器を取り上げ、我が国や諸外国の音楽に触れるよう構成されています。基礎的な基本的な知識技能の習得の工夫では、複数の角度からの奏法などが示され、短い曲の積み重ねにより習得できるよう構成が工夫されています。思考力・判断力・表現力の育成工夫では、活動のヒントとなる「演奏のポイント」「音を聴いて確かめよう」「ここがわかればグレードアップ」や「アンサンブルセミナー」が示され、思考力、判断力、表現力を育成する構成となっています。主体的な学習態度を養う工夫では「楽器を知ろう」「Q&A」「音を聴いて確かめよう」「和楽器こぼれ話」「演奏のポイント」「練習のポイント」が掲載され主体的な態度を養う工夫がされています。音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫では、各楽器とも平易な練習曲から進められ難易度の吟味により個に応じた指導に対応できる構成となっています。「音を聴いて確かめよう」では「音色」からその特徴を理解し「アンサンブルセミナー」等では学習目標が示され「ここがわかればGrade up」で目標達成するための手順が示されています。また、「マイメロディ」では箏や打楽器による創作に取り組む教材が配置されています。音楽文化についての理解を深める工夫では、5種類の和楽器を取り上げ奏法に限らず、姿勢や礼儀等も説明されています。「調べてみよう」では自分たちの地域などの音楽の紹介も示されています。資料では、「リコーダーの運指表」「ギターのコードダイヤグラム一覧表」「音楽の約束」

「日本の伝統音楽の楽器編成」が掲載されています。表記・表現では、和楽器における五線譜と和楽器固有の奏法譜が示されています。総括としては、「名曲スケッチ」が掲載され、リコーダー13、ギター、箏、三味線8、太鼓、打楽器4、篠笛、尺八2の掲載があり、適正な割合の構成となっています。

以上で器楽の説明を終わります。ありがとうございました。

(議長)

ありがとうございました。

ただ今の説明につきまして、ご質問・ご意見はございますか。よろしいでしょうか。では私のほうから一点、平成27年の採択から各者大きな変更等がありますか。

(担当者)

はい、特にございません

(議長)

他に質疑がなければ、以上で質疑を終了します。担当者の方は、ご苦労様でした。

(議長)

それでは、続いて中学校美術の担当者入室させてください。

(議長)

説明をお願いします。

(担当者)

中学校美術を担当いたしますふじみ野市教育委員会学校教育課指導主事津野孝志でございます。

これより、美術の調査研究の報告をいたします。美術では3者について、調査研究を行いました。短い時間の中で、各社の特徴が分かるよう、内容、資料、表記・表現、総括について、ポイントを絞って説明させていただきます。

最初に「開隆堂出版」です。内容について、各題材の中で、基礎的な技法や知識に関する部分に「マーク」を使用し、各題材のポイントが理解できるよう工夫しています。美術科で大切な「感性」を育てるために、多様な作品例や生徒の制作活動の様子を基に、生徒が自ら発想や構想を生かせる題材を設定しています。鑑賞題材を見開きにするなどして、鑑賞のきっかけとなる「問いかけのマーク」を分かりやすく示しています。鑑賞にかかわるページを通して、美術文化について親しみやすく、理解を深め、豊かな情操を養うように工夫しています。「学習の目的」と「学習の振り返り」を示して、各題材の学習展開が分かりやすく、生徒が活動する時のヒントを「囲み記事」で掲載しています。学校行事に関する作品が多く掲載され、美術を身近に感じ、主体的に取り組むよう工夫しています。「鑑賞のきっかけになる

問い」や「知識や情報」がマークで示されていて、発想や構想の能力を養うことができるよう工夫しています。歴史的なものから現代までの作品を幅広く取り上げていて、作品とともに作者の言葉も掲載し、美術作品を理解しやすいようになっています。絵巻物の鑑賞では、流れに沿って絵巻物の学習ができるよう掲載しています。資料について、「原寸大ギャラリー」として、実物に近い大きさと、見て感じとることのできる資料となっています。巻末に色彩理論や年表などを資料として掲載しています。各題材に必要な技法を分かりやすく示しています。表現・表記について、各題材名の「ねらい」を掲載し、色、マーク等が統一され、どんな内容を学習するのかを視覚的に分かりやすく掲載しています。「学習の振り返り」を観点別に示し、鑑賞のきっかけとなる「問いかけ」や「安全に注意」に関する内容を色分けしています。総括、中学生の発達の段階に沿った系統的な題材で構成しています。各題材の中で表現と鑑賞を関連させながら学習できるように工夫しています。各題材に「学習の振り返り」があることで、生徒自身が、どのような活動をしながらかんできたか、どのような力がついたのかを確認できるように示しています。生徒の内面に重点を置いた題材を設定し、生徒作品には作者の言葉を掲載しています。生徒が親しみやすい内容となっています。「学習の振り返り」は、観点別になっており、生徒の自己評価や授業評価に生かせる内容になっています。

続いて「光村図書」の報告をさせていただきます。内容について、小中の連携を重視した学びの連続性を大切にして構成されています。感性を豊かにするために日常で実際に飾ったり、使ったりする例を扱った題材を設定しています。各題材の中で、たくさんの「マーク」を使用し、各題材のポイントが理解できるように工夫しています。特に、巻末へのリンクするマークは、資料を有効に活用できるように工夫しています。生徒一人一人が自分の作品づくりのイメージをつかめる「発想や構想のヒント」を示し、創造的な造形活動を展開できるように工夫しています。また、多様な素材や表現方法を追求できるように構成しており、中学生が学習する技法に関しても、系統的に題材を配列し、生き生きとした造形活動が展開できるように工夫しています。授業に必要な技法や道具の扱い方を学習できるように、巻末の「学習を支える資料」を示し、生徒一人一人の表現意図に合った技法を習得し、生徒自らが考え、主体的に取り組めるように工夫しています。資料について、原寸大で印刷された日本の伝統工芸品等、生徒の興味・関心を高める鑑賞のページを工夫しています。歴史的なものから現代の作品まで、バランス良く取り上げています。作品とともに作者の言葉も掲載されており、鑑賞の授業を単独で実践できるように工夫しています。巻末に生徒一人一人の学習を支える技法等の資料を掲載しており、「トピックス美術史」では、美術と世界史をリンクさせて構成し、見やすい工夫をしています。表現・表記について、生徒に必ず身に付けさせたい力やねらいを10の項目のマークで表し、視覚的に分かりやすく掲載しています。各題材の目標と〔共通事項〕に関連するもの示し、学習の評価を明確にしています。「道徳」との関連性を持たせ、

日本美術のよさや美しさを感じ取ることができるよう工夫しています。総括、題材を「表現と鑑賞」に分け、それぞれに日常の生活で目に触れる機会が多くあるデザインされた用具や美術作品（伝統工芸品など）の図版を見やすく構成しています。生徒の発達の段階に合わせた主体的な造形活動を促すために、10項目のマークを用いて各題材の学習のポイントを示しています。また、道徳の学習との関連性を持たせ、鑑賞の授業に役立つものとなっています。3年間を見通した構成になっており、題材に必要な技法や材料に関して、日本の伝統文化のよさ、美術と社会、自然と美術のかかわりを示す図を巻末に掲載しています。

最後に、「日本文教出版」について報告させていただきます。

内容について、感性を豊かにするために「自分と他者」「生活と社会」「自然と環境」をテーマとして題材を設定し、学習を深めていく構成となっています。原寸大の作品を掲載したり、見開きや紙質を変えたりして、日本の美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養うよう工夫しています。各題材の中で制作過程が分かるような図版やアイデアスケッチ、生徒作品を豊富に掲載しています。特に巻末には、生徒一人一人に基礎的・基本的な用具の扱い方や造形的な能力を身に付けさせる工夫をしています。各題材に「学びのねらい」が示してあり、作品を制作することで身に付く力を確認し、思考力・判断力・表現力を育成する工夫をしています。また、学習の手立てとなる「ポイント」をマークで示し、生徒一人一人が意欲的に造形活動に取り組む態度を養うよう工夫しています。

「鑑賞の出会い」は、日本の美術文化への関心を高めるページを工夫しています。特に見開きの葛飾北斎の版画作品は、紙質を変えた鑑賞資料となっています。資料について、工芸デザイナーの言葉から身の回りのものをデザインすることの面白さ、大切さを理解することができる、生徒自身の生活の中からデザインする「よさ」を発見することができる資料となっています。2・3下の巻末に卒業する3年生に向けた「あなたへ」という詩を掲載し、卒業後も社会で美術文化に興味・関心を持つようなメッセージを掲載しています。

表現・表記について、学習の手立てとなる内容を題材ごとに「ポイント」のマークで示し、学習内容の大切な部分を分かりやすくしています。題材名の下に副題を示すとともに、学習のねらいを観点別に掲載しています。道徳の学習と関連する資料を示し、鑑賞授業との関連を図っています。総括、生徒の発達の段階に合わせた主体的な学習活動を促すために、8項目のマークを使い、学習のポイントや注意事項を示しています。生徒が自己の3年間の成長が確認できるよう、「自分—他者—社会」といった広がりのある題材設定を示しています。

道徳の学習と関連する内容を示したり、日本の伝統文化、美術と社会、自然とのかかわりを見開きの資料や紙質を変えた資料を効果的に構成し、掲載しています。歴史的なものから現代の作品までバランスよく取り上げています。美術史の年表には、日本と中国の関連性も分かりやすく示してあります。これからは、小中連携を考えた教科書を考えていくことも大切なことと思います。



美術の説明は以上です。

(議長)

ありがとうございました。

ただ今の発表につきまして、ご質問・ご意見はありますか。

では私から一点お願いします。平成27年の採択から各者大きな変更等はありませんか。

(担当者)

はい、大きな変更はございません。

(議長)

はい、分かりました。

他に質疑よろしいでしょうか。

質疑がなければ以上で質疑を終了します。担当者の方は、ご苦労様でした。

(担当者)

ありがとうございました

(議長)

中学校保健体育の担当者入室させてください。

では、お願いします。

(担当者)

坂戸市立教育センター児玉 直也です。どうぞよろしくお願いいたします。保健体育科の調査研究の結果を報告いたします。

保健体育の教科書については、「東京書籍」「大日本図書」「大修館書店」「学研」の4社から発行されています。それぞれの教科書について説明いたします。

最初に、「東京書籍」です。教科書の配列が学年別に構成されています。学年別の構成にすることで、学習内容が明確になり、学習の見通しがもてるように工夫されています。内容については、各章のとびらには、この章で学習する内容が記載されており、学習の道筋が見える構成となっています。また、小・中・高の系統性も記されています。1単位時間の流れについては、「今日の学習」「やってみよう」「本文・資料」「考えてみよう」「生かそう」といった一連の流れで理解を深められる構成となっています。章末には、知識の習得を確認する「確認の問題」と、知識を活用して考える「活用の問題」が設けられています。資料については学習内容の理解が深まるよう豊富な資料があり、写真とイラストも効果的に配置されています。特に、「読み物」という項目を各所に設け、生徒の興味関心を高め、学習内容を深める工夫がされています。表記・表現については、他教科とのつながりを表示する「他教科マーク」や他ページとのつながりを表示する「リンクマーク」により学習のつながりが明示されています。

次に、「大日本図書」です。教科書は、保健編、体育編それぞれの領域ごとの

配列となっています。ワイドな見開き構成となっており、本文と資料がバランスよく配置されています。内容については、各章の最初には、その章での見通しと学習課題がもてるように、学習の流れが示されています。1単位時間については、「学習課題」、「考えよう」、「本文・資料」、「学習を活かして」という流れで構成されています。終末には、重要な用語が「キーワード」として示され、学習内容の習得の確認ができるようになっています。各章末には、「重要な言葉」と「学習の要点」がまとめられており、学習内容の整理に役立てることができます。また、章末資料の「トピックスプラス」には、資料が豊富に掲載されており、学習した内容の理解を確実なものとするための工夫がされています。資料については、学習内容をより深める「ミニ知識」や生徒の興味関心を高める「トピックス」が設けられています。表記・表現については、「リンク」において体育編・保健編の関連するページを示し、横断的な学習をするように工夫されています。

次に、「大修館書店」です。教科書は、保健編、体育編それぞれの領域ごとの配列となっています。「この教科書の使い方」のページを開くと、矢印や吹き出しを使いながら、マークの意味などが丁寧に説明されています。内容については、章のとびらには、その章の内容に関連する写真や「問い」が示されており、これから学ぶ内容の大まかな流れをつかむことができるように工夫されています。1単位時間については、「クエスチョン」、「本文・資料」、「トライ」という流れで構成されています。また、重点項目については、4ページ構成となっており、終末には実際に書くことで学びを深めるための「チャレンジ」を設けています。章末には、学習の振り返りを行ったり、学んだことを生かしたり、広げたりするための学習のまとめのページがあります。資料については、各所に「トピック」や「コラム」が設けられており、学習した内容を将来の生活や実生活に活かすことができるよう工夫されています。表記・表現については、本文部分に薄黄色の下地を敷いたり、資料から読み取ってほしいポイントを吹き出しに示したりするなどの工夫があります。

最後に、「学研」です。教科書は、保健編、体育編それぞれの領域ごとの配列となっています。B5版の紙面の中に図やグラフなど豊富な資料がコンパクトに配置されています。内容については、章のとびらには、学習に関連のある写真やメッセージにより、学習する内容が示されています。また、小・中・高の系統性についても示されています。1単位時間については、「学習目標」、「ウォームアップ」、「エクササイズ」「活用しよう」という流れで構成されており、主体的に学習に取り組める発問、演習、まとめにより、学習内容の理解が深まるよう工夫されています。章末には、学習内容を確認するための問題が設けられており、関連ページについても記されています。資料については、各所に学習内容に関連した読み物資料の「コラム」が設けられており、生徒が学習内容をより身近なものに感じられるような工夫をしています。表記・表現については、用語解説や関連情報などがそのページの中に記されていたり、本文と資料をリンクさせるために、本文中に資料番号が記されていたりするなど、学習内容の定着を図るための工夫がされています。

保健体育科の調査研究の結果報告は以上です。

(議長)

はい、ありがとうございました。

ただ今の説明につきまして、ご質問・ご意見はありますか。

(委員)

はい。聞き間違いかも知れないんですが、大日本図書はバランスよく配置されているということなんですが、私から見ればどの教科書会社さんもバランスよく単元とか配置されていると思うんですが、特にこの会社がいいのか、全体的にどの教科書会社もバランスよく配置されているということで、共通の特徴という形でいいのか。

(担当者)

調査によりますと「ワイドな見開き構成となっております」というところがございます、一覧でワイドに見とることができるということで資料とバランスよくという部分で。

(委員)

それ以外のところについてはどの教科書会社さんもバランスよくということですね。

(担当者)

はい。

(議長)

他にございますか。

(委員)

大日本の教科書ですけれども、内容のところでは章末以外に、各学習の終末という言葉が使われているのですが、章末ではないような学習のコンテンツになっているということでしょうか。

(担当者)

はい。「章末」と「終末」と二つ用語が使われているということです。

(委員)

この「章末」と「終末」というのは必ずしも同じものではないという理解ですね。

(担当者)

はい。

(議長)

他によろしいですか

では私のほうからよろしく申し上げます。平成27年の採択から各者大きな変更等ありましたか。

(担当者)

はい、大きな変更はございませんが、2019年8月16日に中学校保健

体育の移行措置内容について修正されましたので、こちらに掲載されている年間指導計画の例が若干変更されたことと、救急心肺蘇生法の指針が、平成27年の時のものは2010年出典でしたが、2015年出典ということで、テンポの変更、また、日本体育協会が昨年度4月1日から日本スポーツ協会となりましたのでそういったことも記述の変更が各者ございました。

(議長)

はい。ありがとうございました。他にないようでしたら以上で質疑を終了します。担当の方は、ありがとうございました。

(議長)

次に中学校技術・家庭の担当者入室させてください。

(担当者)

失礼します。

(議長)

説明をお願いします。

(担当者)

はい。鶴ヶ島市教育委員会の小井川聡と申します。どうぞよろしく申し上げます。

技術家庭科につきましては、技術分野と家庭分野に分かれておりますので始めに技術分野、その次に家庭分野の順で報告させていただきます。

それでは初めに、「東京書籍」の技術分野の教科書について、報告させていただきます。本教科書の構成は、基礎的・基本的な学習内容から、実践的・発展的な学習内容までの学習目的や生活と技術のつながりが明確に示され、その内容が様々な分野にわたり広く示され、総合的に学習指導要領における教科目標に迫ることのできるものになっています。表示やマークにおいても創意工夫がなされ、既習内容の復習を進めやすくする「小学校での学習内容の振り返り」、ものづくりをより学びやすくさせる「ものづくり手順」「基礎技能」、主体的な学習を促進する「考えてみよう」「調べてみよう」「生活に生かそう」「まとめをしよう」等、生徒自らが教科書をひもときながら課題解決を図る機能的で整理された工夫がなされています。また、教科書全体のデザインが大きく変わり、教科書の版のサイズがAB版を使用したものとなっている。それにより、他社のものより横幅が多少大きくなり、インデックスの工夫やより見やすい図表、写真の掲載等、デザイン的な工夫がなされています。本末に付録的な『防災手帳』が添付されています。切り取って使用し、ハンドブック的に日常の家庭生活の中で活用できるものであり、技術と防災とのかかわりを考えながら、実生活で生きて働く資料となっています。他にも、技術への興味・関心の向上を図る「ひとくちQ&A」の工夫。身近な生活における危機管理を意識させる「安全」「衛生」「情報モラル」「技術の天びん」の表示。発展的学習や伝統文化の理解を深めるための「技術の匠」等、生徒の主体的学習を深め、現代的課題に迫る工夫がなされている。

次に、「教育図書」の技術分野の教科書について、報告させていただきます。本教科書の構成は、ものづくりの製作題材を多く掲載し、実習を主体とした学習活動を中心的に構成することで、生徒の興味・関心を喚起しながら、基礎・基本の充実を図ることのできる構成になっています。数多く示されている、製作を中心とした実践的・体験的活動の事例を通して、身近な生活と技術のかかわりを考え、生活に生きる学習活動に取り組むことができるようになっております。そして、ものづくりをフォローする写真や図、表なども、多様に丁寧に説明されており、製作工程ごとの作業方法や製作品のイメージがしやすく、主体的な学習に繋げやすい内容にもなっています。「基礎技能」「基礎技能・知識」の表示により、より深いものづくりについて、基礎技能の習得や機器の安全な利用について活動の中から学ぶことができる構成になっていることも、特徴的な内容であります。それ以外についても、ものづくりに対する構成要素がたいへん充実し、「実験」「実習」「調べよう」「考えよう」「やってみよう」の分かりやすいフォーマットにより、実践的・体験的学習を展開しやすくなっています。また、「何を学ぶか？」の表示によるガイダンスの機能の充実、とにかく豊富なものづくり作成事例の提示、分かりやすく大判で表示された図表、写真、資料の提示等、内容的にもビジュアル的にも専門性の高い創意工夫がなされています。

最後に、「開隆堂」について、報告させていただきます。

本教科書の特徴的構成は、学習目標が明確に示され、参考資料や実験例が豊富に掲載されていることにより、基礎的・基本的な内容を中心に生徒自身が主体的に学習でき、興味・関心を深めながら、学習指導要領の教科目標に迫ることができることです。「考えよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」等の見出しの工夫により、生徒が主体的に学習に取り組みつつ、実践的・体験的な学習活動により、課題解決を図ることができる内容になっております。また、「参考」「リンク」「探求」「豆知識」等の多くの資料を活用しながら、知識や技能の幅を広げ、自らの課題に伴った課題解決学習に主体的に取り組むことができる構成にもなっております。他にも、「ガイダンスの機能を示すページが充実による、興味・関心の深化」「身近な生活場面に接続した豊富な例示による、生活と結び付けた学習の充実」「ふり返りによる生活に活かすことのできる学習内容の自己評価」「評価・活用ページによる知識・技能の評価の充実」「循環型社会や持続可能な社会のイメージの明確化」等、様々な内容において、その分かりやすさや理解を深めるための創意工夫がなされています。

続きまして、家庭分野の調査研究の報告をいたします。

それでは、「東京書籍」についてご報告させていただきます。巻頭には、教科書の使い方や家庭分野のガイダンスも充実した内容で掲載され、授業時数や目的に合わせて、選択して活用することができるようになっています。また、多様な学習計画に対応できるよう、写真やイラスト・図表・実習例など、豊富に掲載されています。特に、A家族・家庭と子どもの成長では、「幼児の靴や箸」、B食生活と自立では「目ばかり手ばかり」が実物大で扱われており、さらに概量、目安の量が分かりやすく、食品を手のにのせてはかる様子も載っており、実感をもって学べるようになっています。「基礎技能」のページは、実習や生活の中で必要な基礎的・基本的な技能をまとめ、いつでも確認できるよう、検索性を高め、技能の定着が図られるように構成されています。系統的、教科横断的な学びも分かりやすく、小学校マーク、中学校技術・家庭科における「リンクマーク」、各教科との関連マークなどを掲載し、家庭分野の学習をより深め、広げることができ

るよう工夫されています。

次に「教育図書」についてご報告いたします。それぞれの地域や学校での多様な指導計画に対応できるよう、写真や図、イラストなど、資料を豊富に掲載しています。クエッション・考えよう・やってみよう・話し合おうなど、多種類の実習や活動があり、自分自身で考えたり、グループで話し合ったり、体験したり、実習を行ったりしながら、主体的に学習を進めることのできる構成になっています。特色のひとつとして、各章の題材の導入では「自立度チェック」や実生活に結びつく「クイズ」が掲載されており、関心・意欲を高める工夫となっています。また、小題材の「キーワードチェック」欄・内容ごとの「学習のふり返り」のページなど、生活に必要な知識や技術を身に付けたか自分自身で確認することもでき、問題解決的な学習の流れを意識した構成になっています。その他、「小学校の復習」や「実習を安全に行うための注意事項」、「持続可能な社会のための環境にかかわる事柄」などに分かりやすいマークを付けています。

最後に「開隆堂」について報告いたします。小題材ごとに「学習の目標」、「導入課題・基礎学習」、「参考・探究・発展学習」、「ふり返り」という流れに沿った構成になっています。巻末に「言語活動の充実のために」という、言語活動の進め方についてのプロセスのページも掲載され、問題解決的な学習への流れを意識した構成となっています。特色のひとつとして、「持続可能な社会をつくる」があります。ガイダンスから全ての内容A～Cにおいて、中学生が身近に実践できそうな環境問題の項目を取り上げ、様々な資料の掲載をしています。環境教育・消費者教育を重視し、循環型社会・持続可能な社会における生活のあり方について、視野を広げる工夫がされています。また、多様な職業の人から、中学生へのメッセージが多数あり、キャリア教育の視点にたった、これからの進路や職業を考えるヒントとなり、さらに家庭分野における関心や意欲にもつながっています。中学生の実習場面や作品例、食品や幼児の手形の実物大の写真、作業の安全や衛生にも配慮したマークなども分かりやすく掲載されています。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

(議長)

ありがとうございました。

ただ今の説明につきまして、ご質問・ご意見ありましたらお願いします。

(委員)

技術分野につきましては、表記、表現のところに「UDフォントで書体が統一されている」とありますが、家庭分野につきましては特にそういう記載がないのですけれども、これはされていないのか、それともされているけどあえて表記していないというのとどちらでしょうか。

(担当者)

はい、お答えをさせていただきます。家庭分野の方、そこまで研究が追いついてございませんので、確認を取りまして、次回報告をさせていただきます。

(議長)  
他よろしいですか。

(委員)  
技術分野のほうで、開隆堂さんの一番上の項目なんですけども、学習目標が明確であり、とあるのですが、学習目標が明確でない教科書があるのですか。どの教科書会社も学習目標を載せてきているので明確になっていると思うのですが、なぜこの記載になっているのか

(担当者)  
こちらについても次回研究してまいりまして報告させていただきます。

(議長)  
他よろしいですか。では私のほうから一点お願いします。  
平成27年の採択から各者大きな変更等がありますか。

(担当者)  
はい、大きな変更はございませんが、制度が変更したことによりまして、例えば家庭科のほうで日本食品成分表というものが変更になっていたり、J I S規格の変更等がございましたのでこちらについて標記の変更等がございます。それ以外の変更等はございません。

(議長)  
ありがとうございました。  
それでは以上で質疑を終了します。ありがとうございました。

(議長)  
次に中学校英語の担当者入室させてください。

(議長)  
説明をお願いします。

(担当者)  
中学校英語を担当いたします毛呂山町教育委員会学校教育課指導主事深田と申します。よろしく申し上げます。それでは調査結果を報告いたします。

「東京書籍」 NEW HORIZON ENGLISH COURSEについて説明します。Unit「習得」、Daily Scene「活用」、Presentation「発信」の3部構成であり、繰り返し学習をすることで、基礎を確実に身に付け、4技能を総合的に育成することを目指しています。3年間を通して、多様な題材に触れることで、思考力、判断力を育て、自分の考えを伝える構成になっており、UnitのまとめのPresentationで発信型の課題に取り組むようになっています。データや絵を多く活用し、語彙や言語材料は運用度の高いものを活用しています。生徒が「自分の言葉として使う」活動が豊富に用意されています。練習のバリエーショ

ンが豊かで確実に定着できるよう工夫されている。1年生では、小学校英語の復習、中学校英語の導入のHi, English!があり、小中連携を意識した構成になっています。

「開隆堂」 SUNSHINE ENGLISH COURSEについて説明します。Program、Power - up、My project の3部で構成されています。「慣れ親しみながら学習する」を基本とし、全体的に「音声」を重視した構成になっており、新しい文法の導入の際には、音声を重視した自然な会話 Basic Dialogでスタートする形式となっています。特に定期的に4技能を統合した活動ができるMy Projectは、生徒の段階に応じてすべての学年に用意されていて、学習内容がスパイラルに取り上げられるよう工夫されています。また、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するためのペアワークも多く配置されています。さらにペアワークなどのアクティビティを行う際には、写真や絵が豊富に用いられ、生徒の興味関心を喚起しやすい構成になっています。

「学校図書」 TOTAL ENGLISHについて説明します。小学校における外国語活動との連携で、1年生では一般動詞から導入しています。2つのLessonを1つのChapterとし、4つのChapterで成り立っています。ListeningやPracticeの量が多く、学んでいることの理解が図れてから、表現することに結び付け、達成感を味わわせる工夫がされている。最後にWritingをさせる活動においては、見開きでページを使用し、左のページにまず本文を載せ、右ページで練習をさせて、Listening, SpeakingそしてWritingにつなげていく構成をとっています。また、英文の読み方について、発音がネイティブに近いリズムになるよう、音の強弱や音と音とのつながりを視覚的に意識させて学習させるコーナー Listen & Repeatがあります。さらに、日本人には分かりづらい感覚を要する新出表現には、詳しく説明するなど、理解の手助けとなる工夫があります。

「三省堂」 NEW CROWN ENGLISH SERIESについて説明します。Lesson、Let' s listen、Let' s talkの3部構成であり、また各課ごとに とびら→GET→USE READ→USE SPEAK WRITE→文法のまとめと進みます。Partごとには、PracticeでListen「聞く」、Speak「話す」、Write「書く」活動があり、基本的な4技能を習得できる活動が入っています。各課の始めに、学ぶ目標、Partごとに学ぶポイントが提示され、課の終わりには、自主的に学ぶことのできるページがあります。また、学習しているページに、関連する内容、参考になる資料等をすぐに探せるよう、利用できるページが掲載されています。各課で学んだ事を統合的に学習できるようProjectがあり、表現力の育成を図っています。活動の内容は絵でも示されており、発音記号は別色で表記されています。教科書全体に文字、配色の工夫がされています。

「教育出版」 ONE WORLD ENGLISH COURSEについて説明します。各学年3つのUnitで構成し、1つのUnitに3～4のLessonがあります。各レッスンは、HOP、STEP、JUMPで構成されていて、HOPでは主に「聞く」「話す」「書く」を学習し、STEPでは「読む」活動が意欲的に行



えるよう構成されています。さらにJUMPではすべてを統括した発展的な内容が盛り込まれ、順序立てて4技能を伸ばすことのできるスタイルになっています。本文には関連写真や説明が多く取り込まれています。文字の工夫、単語の配置が適切です。別冊「Essential」が附属されていて主体的に学習に取り組むことができます。すべての単元に目標が明確に設定されているために到達目標が分かりやすい構成になっています。

「光村図書」 COLUMBUS ENGLISH COURSEについて説明します。各Unitは、本文、Try it (習得)、 You can do it (活用) からなり、Go for it (自己表現活動) へとつながる構成になっており、4技能を総合的に使って、幅広く自己表現を体験できる構成になっています。「紹介する」「書いてまとめる」「報告する」「意見を伝える」といったテーマ設定がなされており、活動しやすい4つのステップが設けられています。具体的なアドバイスが付記されているため、無理なく活動に取り組み、感想を述べたり、意見を聞いた後に再度自分の考えをまとめたりするなどのさらに進んだ活動も準備されていて、実際の使用場面や目的に応じた言葉の使い方を学ぶことができます。また、教科書本文に出てくる登場人物が生徒と等身大であるというのも特徴です。

以上でございます。

(議長)

ありがとうございました。

ただ今の説明について、ご質問・ご意見はございますか。

なければ私のほうから一点お願いします。平成27年の採択から各者大きな変更等はありませんか。

(担当者)

はい。大きな変更はありません

(議長)

分かりました。他よろしいでしょうか。

それでは、以上で質疑を終了します。ありがとうございました。

(議長)

以上で全ての種目の報告が終わりましたが、午前中前半の社会科の際に出た質疑について回答の準備ができたということですので報告をしていただきます。では、お願いします。

(担当者)

はい、午前中中学校社会科のほうで担当させていただきました武田と申します。二つ目の質問で平成27年から各者大きな変更はございましたかという質問に対して、後日調べて報告いたしますと申しましたが、確認が取れましたので報告させていただきます。平成27年から大きな変更はございません。以上でございます。

	<p>(議長)</p> <p>はい。ありがとうございました。</p> <p>これで、午前中に予定された報告は終了となりました。これより、休憩といたします。午後は予定通り、12:40より開始します。おつかれ様でした。</p>
--	---